

# たいない

議会だより

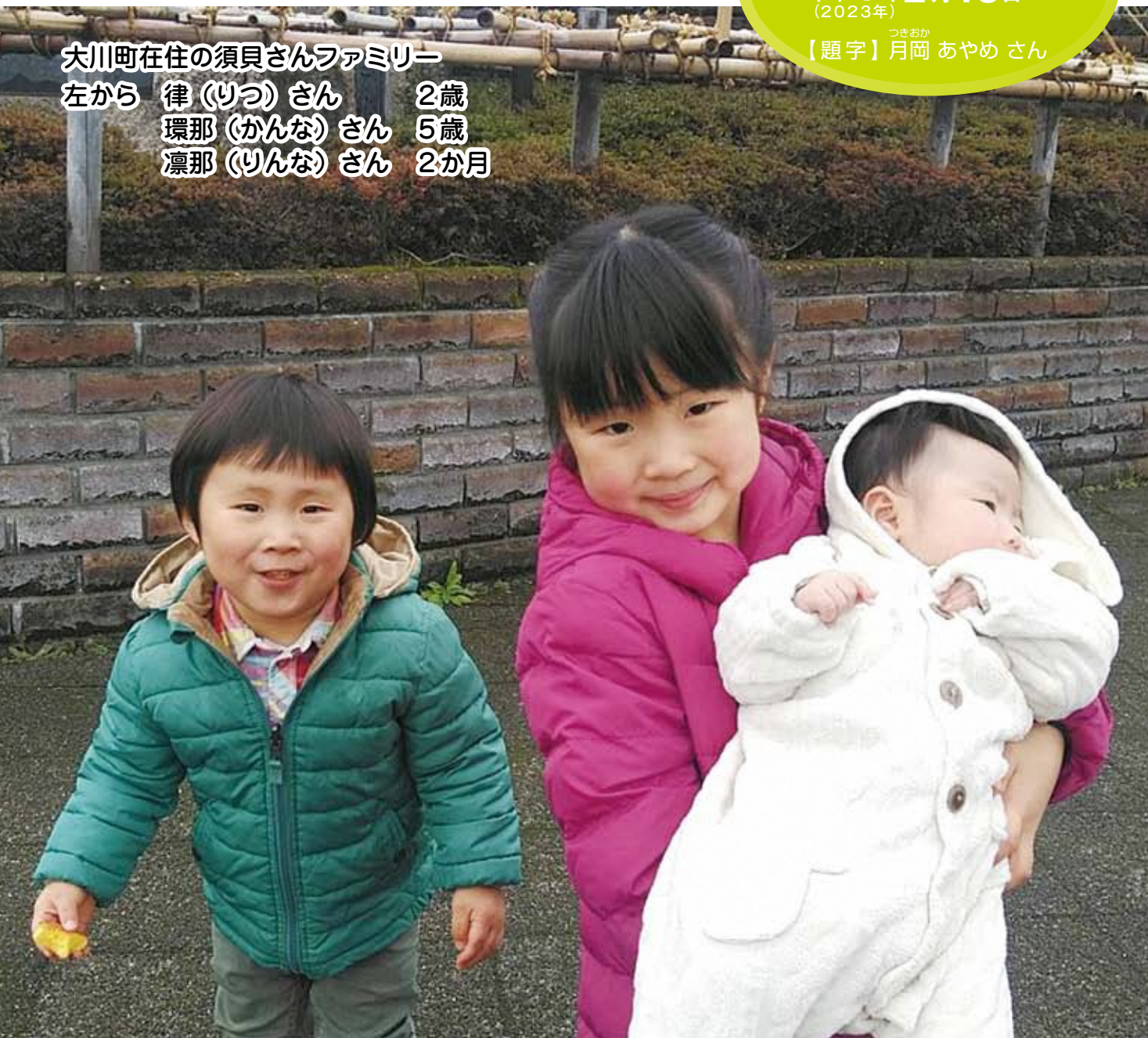
No.76

令和5年2月15日  
(2023年)

【題字】つきおか月岡 あやめ さん

大川町在住の須貝さんファミリー

左から 律(りつ)さん 2歳  
環那(かんな)さん 5歳  
凜那(りんな)さん 2か月



女性委員・会員等との意見交換会  
一般質問(7人)  
令和4年第4回定例会議決結果  
常任委員会審査  
意見書の提出

2~3ページ  
4~10ページ  
11ページ  
11~12ページ  
13ページ

# 意見交換会を開催！



【写真上：本会議場で参加者と記念撮影】

【写真下：女性の視点で活発な意見交換が行われました】

市議会では、令和4年11月27日（日曜日）に市内の各種団体等で活動されている女性委員・会員等との意見交換会を開催しました。

今回が8回目の開催で10名（7団体・公募）に参加いただきました。実際の議案審議を行う本会議場で開会セレモニーを行った後、グループに分かれ「子育て・教育・学び・防災」、「健康・福祉・環境」、「産業・雇用・生活基盤」の3テーマについて意見交換を行いました。女性議員1名の当市議会にとって、大変貴重な機会となりました。

参加者からのご意見は、今後の議会活動に活かしてまいります。

なお、主な意見等を次ページに掲載しましたが、その他の内容は市ホームページにも掲載しますのでご覧ください。

## ○参加いただいた委員・団体等

- ①胎内市消防団 ②農村地域生活アドバイザー ③胎内市民生児童委員協議会連合会  
 ④胎内市介護予防・日常生活支援体制整備推進協議会 ⑤黒川商工会女性部  
 ⑥J A胎内市女性部 ⑦胎内市男女共同参画推進委員会 ⑧公募

開かれた議会を目指して

# 女性委員・会員等との

## 女性委員・会員等との意見交換会（主な意見）

項目	内 容
子育て・教育・学び・防災について	・新潟食料農業大学や開志国際高校の入学者が多い。市民との交流などに期待したい。
	・児童数が減少したことにより、クラス数が減り、1クラスの生徒数が増えた。その結果、生徒一人ひとりに目が届かないなど、様々な不備が生じる。先生を減らさないでほしい。
	・中学校では、部活動の選択肢が少ないため、希望する部活動を行うために遠い学校まで通う生徒は大変だと思う。
	・人が少なくなって自主防災組織を立ち上げできない地域は、近隣集落と合同で設置するなど市として促していくのはどうか。
	・女性消防隊は、要請があれば出向いてAED講習の活動を行っている。もっとPRしてほしい。
健康・福祉・環境について	・高齢者のお宅へ行ってお世話をしているが、一人暮らしは孤独だと感じた。近所の支え合い、きめ細かな支援が必要だと感じた。
	・地域でサロンをしているが、市内コロナ感染の情報が毎日公表されなくなって開催の判断ができなくなった。サロンを休んでいる間、老化が進んだように感じた。
	・地域のサロンは男性の参加が少ないと言われるが、地域によっては男性だけの会もある。近くの集落と交流ができれば良いが難しい。旧小学校区で健伸館のような集まりの場があると良い。
	・保育園でオーガニック給食を考えてほしい。
産業・雇用・生活基盤について	・洋上風力発電の関係で工業団地に企業進出はあるのか。市にどのような恩恵があるのか知りたい。
	・希望する求人が少ないこともあり、子どもが胎内市に就職を希望していない。就職活動が解禁になるが市でも市内企業のPRをしてはどうか。
	・首都圏で米粉需要が高まっている。胎内市で米粉のPRをしてはどうか。



11月27日（日）、女性との意見交換会と同日に「議場見学会」を開催しました。市民に開かれた議会の推進の取組の一環で、議案審議を行う本会議場のほか、議長が日々の執務を行う議長室などを見学いただきました。

**議場見学会を  
開催しました**



渡辺 栄六 議員

# Jアラート発令時の対応について

議員 11月3日、北朝鮮による

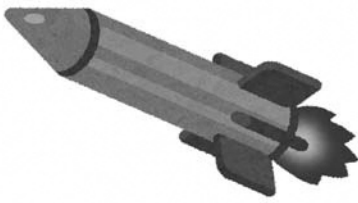
弾道ミサイル発射に伴うJアラートが政府から発令されたが、市の防災対策としてどのような対応を講じたのか。

**市長** 新潟県防災情報システムからの情報収集によりミサイルは既に落下したこと、同様のミサイルが再び発射されていないことを確認したほか、警察署及び消防署へ被害等の情報収集を行いながら、市内での被害が発生していないことも併せて確認した。

**議員** Jアラート発令時の身の守り方や避難場所、避難方法など市民はどのような対応をすべ

きか。

**市長** ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるための屋内避難が基本的な行動となる。一方、屋外にいる場合は近くのできるだけ頑丈な建物に避難することが基本的な行動となる。



# 低出生体重児の支援

について

**議員** 本市の低出生体重児の現状と支援体制は。

**市長** 出生数は令和3年度が11人、令和2年度と元年度がそれぞれ10人と、年間総出生数の約7%程度となっている。また、支援体制については発育、発達の経過観察や保護者への相談対応、育児支援を行なうとともに在宅医療を必要とする場合は入院費用の助成を行う経済支援をしている。



**議員** リトルベビーハンドブックの導入については。

**市長** 現在新潟県版ハンドブックが提供されており、当市においても低出生体重児や早産で生まれた乳児の保護者に配布をし活用を進めている。

# 带状疱疹ワクチン助成

について

**議員** 带状疱疹ワクチンは任意接種で、生ワクチンが1回8千円、不活化ワクチンは1回2万2千円程度と高額で、しかも2回接種する必要がある。接種費用が高額であるが、ワクチン助成の考えは。

**市長** 現在厚生労働省において定期接種化に向けて期待される効果や安全性等について検討されており、市としては今後の方角付けについて判断していく。



# 新型コロナウイルス感染症の かかりつけ医の役割について



羽田野 孝子 議員

**議員** 市の感染状況が知らされない上に、かかりつけ医で診てもらえない状況であり、市民から不安の声が寄せられている。対策が必要であるが。

**市長** 市内4か所の発熱外来ではそれぞれ1日10人前後の患者に対応しており、かかりつけ医では、電話相談やほかの医療機関への紹介、薬の処方など、役割を担ってもらっている。

**議員** 市には発熱外来が少ないのではないかと。かかりつけ医で風邪症状を診ている所と、診てもらえない所がある。行政から働きかけが必要では。

**市長** 発熱外来が少ないか否か確認をしてみたい。かかりつけ医の役割等については医師会の先生方と話し合いをさせていただく。



発熱外来を実施している中条中央病院

# 「とっさか」のデイサービス 閉鎖について

**議員** 利用者から「今年度末で閉じるのは困る。」と相談があった。過去5年間のデイサービス・デイケアの合計利用者数は。

**市長** 「とっさか」の利用者は他の施設を利用できるよう配慮している。通所者は平成29年度が649人、令和3年度は526人。

**議員** 過去5年間の要介護1以上の居宅介護、地域密着型、施設介護サービスを受けている人数と、令和3年度のそれぞれの一人当たり保険給付費月額は。

**市長** 居宅介護サービスが677人から566人に減。地域密着型は229人から238人、施設介護は342人から390人に増。一人当たり保険給付費月額は居宅介護が約9万2千円、地域密着型が約23万9千円、施設介護が約27万5千円。



デイサービスセンターとっさか

# 公立、私立の保育園・ 認定こども園の早期保育 受け入れについて

**議員** 「私立では早期保育を7時から受け入れているが、公立は7時30分からで、早めてほしい。」と要望が寄せられた。改善できないか。

**市長** 7時からの通園児は54人で全体の5%程度。公立・私立の垣根を越えて可能なところを探っていきたい。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



坂上 隆夫 議員

### 有害鳥獣対策について

**議員** 今年度の捕獲頭数、わなの設置数、被害状況は。

**市長** 捕獲頭数は猿が89頭、イノシシ6頭、熊3頭である。わなの設置数は、猟友会員が地域の状況や要望によって設置しているが、猿の箱わな24基、熊の箱わな1基、イノシシのくくりわな31基と箱わな12基である。被害状況は、3月に農家組合長への聞き取りを行い集計しており、本年度分はこれからとなるが、稲被害では5件で27万円、昨年度が10件で100万円、令和2年度が4件で84万円。電気柵の導入が進んでいることもあり、被害額は減少傾向が予想さ



電気柵

れるがイノシシが畦畔やU字溝を掘り返すといったような農地等への被害が増加傾向にある。

### 除雪対策について

**議員** 除雪車による除雪後、庭先に残された雪の処理について、高齢者や除雪作業が困難な家庭に何か支援の考えはあるのか。

**市長** おおむね65歳以上の支援が必要な高齢者のみの世帯に対して、軽度生活支援事業の中で玄関から道路までの雪かきを、シルバー人材センターやNPO法人奥山の荘に業務委託をしているが、除雪シーズンは作業依頼が集中するため、すぐに対応できないケースもある。また、市役所の除雪担当職員による作業にも限界があることから、基本的には極力地先の方に処理をお願いをしている。

**議員** 除雪作業が困難な家庭については、地域内での助け合い活動が求められるが、活動組織の立ち上げ支援、活動に対しての何らかの助成ができないか。



庭先に残された雪

**市長** 地域活動体制の立ち上げに対する助成について、地域支援合い体制づくり事業の中で補助制度を設けている。組織立ち上げ後の活動に対する助成は、今年度から新たに合併振興基金運用益活用事業の中で地域コミュニティの支え合い活動に対する補助制度を創設し、除雪作業もその対象となる。



寛 智也 議員

# 児童生徒の登下校の安全について

**議員** 令和3年から4年にかけて通学路の危険箇所を、改善された実施件数は。

**教育長** 教育委員会、学校、道路管理者、警察などによる合同点検を実施し、対策が必要な箇所31件中20件改善した。

**議員** 本町交差点から中条小学校までの大川町を通る狭い道路を多くの児童生徒が通学路として利用しているが、時間制の一方通行にするなどの対応は。

**学校教育課長** 学校や警察等と協議の上、検討したい。

**議員** 自転車利用者の自転車損害賠償責任保険等への加入が、令和4年10月から義務化された

が、中学生の自転車通学生徒の加入率はどれくらいか。

**教育長** 一部の中学校では100%の報告がある。それぞれの学校の状況をしっかり把握し十分配慮していきたい。

**議員** 消えかけた自転車横断帯などの対応について伺う。

**教育長** 警察に確認したところ市内16箇所に自転車横断帯が設置されている。そのうち国道7号線下館地内の自転車横断帯については今後も使用するがそれ以外はなくす方向で考えているとのこと。



消えかけている自転車横断帯

# マイナンバーカードの交付状況と利用状況について

**議員** 現在の申請率はどれくらいか。また健康保険証利用の申込率は。

**市長** 申請率は11月末現在で54.7%。健康保険証利用の申込率については各市町村別の公表はないが、国全体で49%となっているので同程度と推察する。

**議員** 健康保険証利用義務化への不安に対する市民への対応は。

**市民生活課長** 心配される声が多くあり、誰一人取り残されないように、不利益を被らないように丁寧に説明していく。

**議員** コンビニでの住民票等の交付対応の予定について伺う。

**市長** 経費負担が多いことに併せ、電子申請や電子収納システムの導入を令和5年度に検討しており、外出せずとも各種申請等ができるということを主眼に考え進めていく。



マイナンバーカードと保険証

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



薄田 智 議員

## 市における節電対策について

**議員** 市の31施設の電力入札状況と契約変更による影響額は。

**財政課長** 10月から契約が新電力会社から東北電力に切り替わり、半年分で電気料金が約6千万円の増額になる。

**議員** 市施設のLED化が計画通り進まなかったのはなぜか。

**市長** 施設が老朽化している中で設備の見極めを行ってきた結果、100%に至っていない。

**議員** 胎内市沖の洋上風力発電が促進区域に指定され、今後事業者の入札が行われていくということであるが、地元自治体や各家庭向けに安価な供給を検討できないか。



**市長** 今後公募が始まり、事業者選定が行われていく予定で、地元への電力供給について地域要望として伝えていく。

## 防災行政無線システムの更新について

**議員** 現在のシステムは12年が経過し、改善課題も多い。今後の新システムの内容と事業額は。

**市長** 令和5年度から2か年計画で再整備を行い、防災情報をスマホやタブレットに音声や文字で伝達できる他、屋外スピーカーの増設などにより市内全区をカバーできる改善を行う。事業額は10〜15億円程度。

**議員** スマホ等に連動した防災システムということだが、経済的理由でスマホを持っていない家庭や高齢者への対応は。

**市長** スマホを持つていない全の方に支援するということにはならないが、他自治体の事例を学びながら、どのような支援ができるかなど考えていく意義はあるのではないかと。



防災行政無線システム

## 新潟食料農業大学との連携について

**議員** 今年JA胎内市に1人就職されたということだが、本市の職員として採用する考えは。

**市長** 今後の大学の魅力を高めることになるし、市にとっても効果があると考えている。

**議員** 学生が地元の中学校や小学校に出前授業は出来ないか。

**市長** お互いに刺激と学びになると考える。今後提案してみたい。





森田 幸衛 議員

### 園芸振興について

議員 畑作営農継続支援補助金の成果と課題については。

市長 原油、肥料価格や物価高騰により影響を受けている畑作農家に対し、営農の継続を支援するため、10アール当たり2千円の補助金を交付したが、交付件数は69件、申請面積としては2万952アール、交付金額は419万円。畑作については、毎年営農計画書に基づいて作付を行っている水田と違い、農地台帳からも対象者の特定が困難な部分もあり、確認作業に時間を多く要したことが課題として残った。今後はスピード感を持って速やかに支援を行うべく、様々

な工夫をしたいと考えている。



堆肥散布作業の様子

議員 砂丘地園芸振興区域で、畑作を営んでいる農家や農業法人の経営概要を市が調査・把握すべきではないか。

市長 実態がどうかであるかを掴んで、対策をいかにしているか。

ら良いか。農協と問題を共有し、今後の対策について、何らかの方向性は導いていきたい。



バイオマス施設

議員 本年度で終了するバイオマス事業とこれからの堆肥利活用支援の考え方は。

市長 バイオマス施設の今後の在り方について、肥料を利用している農家に施設の運営状況と併せ、今年度をもって製造を休止する説明を行い、了解をいただいた。これからの堆肥の利活用についてJ A胎内市と堆肥散布事業の現状を踏まえ検討を進めている。市内の畜産企業においても堆肥や肥料を製造しているところもあるので、現実的な連携の可能性も模索してみたい。

### 長池農産物直売所について

議員 長池農産物直売所の次年度以降の管理運営方針と再生に向けた取組等についての考え方は。

市長 市としては、新潟食料農業大学と連携して、野菜や加工品など新たな特産品の販売場所の提供や定期的なイベントの開催に協力し、直売所としての機能の向上に努めていきたい。



長池農産物直売所

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



丸山 孝博 議員

# 子育て、若者支援について

**議員** 子どもの医療費助成制度

について、県内では全自治体で医療費助成が18歳まで実現した。全国、県内の自治体の流れは、窓口負担ゼロで、県内では4つの自治体が窓口負担ゼロで歓迎されている。市としても検討すべきでは。

**市長** 子育て世帯の経済的な支援については前向きに検討してみたい。

**議員** 市内に住所があり、18歳を経過し、24歳までの大学、短期大学、専門学校等に在学している学生に対し、医療制度の適用範囲を18歳以下と同様に拡大することで若者支援をすべきで

ないか。

**市長** 大学生等とそれ以外の就労している方々との平等や公正に思いを致さなければ社会的な合意形成は得られない。各自治体で競い合いのような流れは違和感を感じる。



市役所こども支援課

## 抗原キットの無料配布

ユウソウ

**議員** 県が実施している抗原検査キットの無料配布は発熱者が申請し、届いた検査キットで自己検査をしているが、これでは発症から受診、治療に至るまで数日を要する。検査キットの購入が困難な低所得者や事業者の経済活動への影響を軽減するため従業員等に対する購入費用補助金制度を創設できないか。

**市長** 生活に困窮している世帯や住民税非課税世帯等に対して、国と市から給付金の支給で、家計の負担軽減の支援をしている。これに加え検査キット購入に対する補助を行うことは、現在検討していない。

事業者に対する支援については、経済活動への影響が軽減できるようなであれば、補助制度等について検討してみる価値はあるのかもしれない。

## 給食費の公費負担

ユウソウ

**議員** 物価高騰による保護者負担を軽減するため今年度は、値上がり分を公費負担した。物価高騰は来年度以降も続くことが想定されるので引き続き公費負担すべきでは。

**市長** 来年度も実質的な値上がり分は公費で賄っていこうと考えている。

**議員** 県内では全額または一部を公費負担している自治体があるが、市としても検討されたい。

**市長** 子どもに食を与えることは保護者の扶養義務に係ることであり、給食費についてもそういうことを十分に考えられた上でなされなければいけないのではないか。



学校給食

# 令和4年 第4回定例会議決結果

第4回定例会は、12月6日から12月23日までの18日間にわたって開催されました。市長提出議案については、専決処分の承認1件のほか、補正予算10件、条例の一部改正、制定等11件、請願1件が審議されました。議員提出議案では、意見書3件が審議され、次のとおり議決されました。

## 全会一致で可決された議案

令和4年度補正予算	条例の一部改正・制定等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計補正予算（第11号）【専決】</li> <li>・一般会計補正予算（第12号）</li> <li>・一般会計補正予算（第13号）</li> <li>・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算（第2号）</li> <li>・公共下水道事業会計補正予算（第2号）</li> <li>・農業集落排水事業会計補正予算（第2号）</li> <li>・農業集落排水事業会計補正予算（第3号）</li> <li>・水道事業会計補正予算（第2号）</li> <li>・水道事業会計補正予算（第3号）</li> <li>・簡易水道事業会計補正予算（第2号）</li> <li>・簡易水道事業会計補正予算（第3号）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例</li> <li>・市立保育園条例の一部を改正する条例</li> <li>・企業設置促進条例の一部を改正する条例</li> <li>・消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例</li> <li>・過疎地域の持続的発展のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例</li> <li>・地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例</li> <li>・企業版ふるさと納税基金条例</li> <li>・議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例</li> <li>・特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例</li> <li>・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例</li> <li>・一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例</li> </ul>
<b>請願</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・免税軽油制度の継続を求める請願書</li> </ul>	
<b>議員提出議案</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書（国・県）【提案者：増子達也 議員】</li> <li>・免税軽油制度の継続を求める意見書【提案者：坂上隆夫 議員】</li> </ul>	

# 常任委員会審査

## 総務文教

### 企業版ふるさと納税基金条例

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する法人からの寄附金である企業版ふるさと納税寄附金について、基金に積み立てることにより後年度においても使えるようにするもの。

**質問** 将来の規模、どのくらいまで積み立てるのか。

**答弁** 企業が市にしてほしいことに寄附してくれることから、どのくらいになるかはわからな。企業版ふるさと納税の制度を活用してもらうため、第3回定例会補正予算において企業とのマッチングをする業務委託を計上した。寄附が増えるよう取り組んでいる。

### 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

国が示した「消防団員の報酬等の基準の策定等について」の対応として、県内20市の消防団員の年額報酬を勘案してその団員の処遇改善を図るため、所要の改正を行うもの。具体的には、団員の年額報酬を2万3千円から3万6千500円に改定するもの。

**質問** 県内20市の状況は。

**答弁** 20市のうち、胎内市を含め14市が今年度中に消防庁が示した処遇改善の額3万6千500円に改定する予定である。



付託された他1件についても可決すべきと決定した。

# 厚生環境

## 市立保育園条例の一部を改正する条例

黒川保育園を廃止し、社会福祉法人きすげ福祉会（以下「きすげこども園」という。）に運営主体を移行し、黒川保育園としては廃止となるが、現在の園舎自体を引き続き利用するため条例の一部を改正する。市としては、令和5年4月より運営主体を移行するため、令和4年4月より保護者への説明及びきすげこども園を交えた説明会を行い、保護者から理解を得ている。

**質問** 設備的には問題なく利用できるのか。

**答弁** 黒川保育園ときすげこども園の双方の設備を利用する。そのため両園をつなぐ渡り廊下の整備を今年度内に完了する予定である。具体的には、黒川保育園で3歳児以上のこどもを、きすげこども園を乳児園として3歳児未満のこどもを受け入れる計画である。

**質問** 施設の安全管理はどうなるのか。

**答弁** 今のきすげこども園の体制で管理すると聞いている。黒川保育園には、警備システムが入っており、それを使いながら行う。

**質問** 現在の職員はどこに異動するのか。

**答弁** きすげこども園には異動せず、市立保育園の他の3園への異動を予定している。



黒川保育園

# まちづくり

## 地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律により、地域経済牽引事業計画（事業者が作成する計画）を新潟県から承認された事業者が計画に基づいて実施した場合、取得した建物等に係る固定資産税の課税免除の制度があり、国から市町村に対し、減収額の4分の3相当が補てんされる。該当する企業に課税免除を行うため必要事項を定める。

**質問** 例えば工業団地に來たといった場合、何の業種でもこの適用になるのか。

**答弁** 極端に言えばどのような業種でもよく、条件はあるが一定程度の事業規模があり、経済効果が見込まれるようであれば適用される。

付託された他7件についても可決すべきと決定した。

## 《おわびと訂正》

議会だより75号（12月15日発行）に誤りがありました。おわびして訂正いたします。

- ・ 4 ページ目 【正：介護保険事業 誤：後期高齢者医療保険事業】
- ・ 17 ページ目 【正：旧統一教会問題 誤：旧統一協会問題】

## 意見書を提出しました

議員提案の意見書を全会一致で可決し、内閣総理大臣ほか関係機関へ送付しました。

### 防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書

近年、気候変動により台風、ゲリラ豪雨、線状降水帯の発生に伴う河川氾濫や土砂災害等各地で自然災害が頻発している。本市においても、本年8月3日からの大雨により、これまでに経験のない豪雨に直面し、土砂崩れや内水氾濫による甚大な被害が発生した。

現在、国では国土強靱化を確実に推進していくため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」から「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に移行し、継続した取組が実施されている。

当市は、令和2年7月に「胎内市国土強靱化地域計画」を策定し、風水害を含めた大規模災害への対策を進め、建築物や河川・道路を始め防災対策に積極的に取り組んでおり、併せて国、県の災害対策実施と河川敷立木伐採や河川整備が促進されたことによって、8月3日からの大雨においても一級・二級河川の規模な外水氾濫は免れ、半世紀前の羽越水害のような多くの人命を失う未曾有の災害を防ぐことができたと考えられる。

今後は更に大規模な自然災害から市民の生命・財産を守り、計画目標が達成できるよう、十分な財源を確保することが必要不可欠である。

よって、国においては、あらゆる災害の未然防止と発生後の迅速な対応に向け、国土強靱化対策の一層の推進が図られるよう、下記事項に特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 近年頻発する大規模災害に鑑み、強靱な国土づくりを強力かつ継続的に進めるため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が着実に実施できるよう、必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進すること。また、対策期間完了後においても、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、継続的に取り組むこと。
- 2 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、国の地方支分部局、とりわけ地方整備局及び国道、河川、ダム管理に係る人員体制の充実・強化や災害対応に必要な資機材の更なる確保に取り組むこと。
- 3 日本海に注ぐ荒川の「荒川水系河川整備計画」を着実に推進し、一層の整備促進を図ること。

(提出先) 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣 農林水産大臣  
経済産業大臣 国土交通大臣 内閣官房長官 衆議院議長 参議院議長

### 免税軽油制度の継続を求める意見書

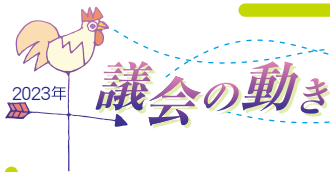
これまで、冬季観光産業の重要な柱であるスキー産業の発展に貢献してきた免税軽油制度が、令和6年3月末で廃止される状況にあります。

免税軽油制度は、道路を走らない機械に使う軽油について、軽油引取税(1リットル当たり32円10銭)を免除する制度で、農業用機械や船舶、倉庫や港湾などで使うフォークリフトなど道路を使用しない機械燃料用の軽油は、免税が認められてきたものであります。

スキー産業では、索道事業者が使うゲレンデ整備車、降雪機械等に使う軽油が免税となっており、この制度がなくなれば、スキー・スノーボード等の冬季観光産業が大きな負担増を強いられ、スキー場の経営維持が困難となるとともに、市町村経済にも計り知れない影響を与えることとなります。

よって、国においては、観光産業や農林水産業等幅広い産業への影響に鑑み、免税軽油制度を継続するよう強く要望します。

(提出先) 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣  
国土交通大臣 衆議院議長 参議院議長



令和5年第1回定例会の日程(予定)

- 2月 21日 本会議 (初日)
- 3月 2日 総務文教常任委員会
- 3日 厚生環境常任委員会
- 6日 まちづくり常任委員会
- 8日 会派代表質問
- 9・10日 一般質問
- 13・14・15日 予算審査特別委員会
- 17日 本会議 (最終日)

私はスポ少でミニバスを習っています。最初は思いどおりにはいきなりバスケットが楽しくありません。練習するうちにバスケットが楽しくなりました。ミニバスでの活動は残りわずかが、最後までがんばって楽しんでます。



築地小学校 6年  
つきおか  
月岡 あやめさん  
の作品です。



表紙の写真

「胎内市の未来を担う子どもたち」

私の将来の夢は……

- 須貝 環那さん (5歳) ピアノの先生
- りつ 律さん (2歳) すいか
- りんな 凜那さん (2か月)

胎内市議会フェイスブック



市議会の活動や話題を発信していきます。ぜひ、ご覧ください。

行政情報発信アプリ

マチイロ



「たいない議会だより」をスマートフォン等からご覧いただけます。

編集後記

寒い日が続く胎内の冬にも、もう少し日が経つと春の足音が聞こえ始めるでしょう。

新型コロナウイルス感染症が世界に回ってから早いものでもう3年が経ち、マスク生活に慣れすぎて外せなくなってしまう方も多いのではないのでしょうか。少しでも早くコロナ前の日常に戻り、皆さんと笑いあえる日が来ることを願っています。

(寛智也 記)

本会議をライブ中継で配信中です!



本会議の様子をYouTubeで生配信しています。

下記QRコードまたは市ホームページ「市議会」からご覧ください。過去の映像も視聴いただけます。

そのほか、本庁舎1階ロビー及び産業文化会館(ロビー)でも視聴できます。

配信はこちら



※本会議を議場で傍聴する場合は本庁舎5階にお越しください。

令和5年2月15日 発行責任者 議長 小野徳重

FAX (0254) 4316111 (0254) 4417875

〒959-1269 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社 須貝印刷